

大阪 高槻はにわラウンド報告書



令和3年9月4日(土)ハイブリッド方式による「高槻ラウンド」を開催しました。今回は、高槻市立阿武野中学校の会場に集まった14名とZOOM参加の19名、合計33名の参加をいただきました。

小・中・高・大のすべての校種の方々にご参加いただき、会場の大阪・高槻と北は東北～南は九州、そしてさらに南のタイ・バンコクを結び、日本を超えた幅広いネットワークで学びを深めることができました。コロナ禍だからこそ、このような形で開催することができたのかもしれない。

佐藤先生、高橋先生、ご参加いただいたみなさま、ありがとうございました。

(今回、佐藤先生に「はにわラウンド」と命名していただきました!!高槻市は今城塚古墳などの古墳が数多くあり、昨年、古墳ランキング第1位に選ばれました。マスコットキャラクターは、子どもたちに大人気の「はにたん」です。)

1. 「学びに向かう力、人間性等の指導と評価について」

高橋先生からは、「学びに向かう力、人間性等の指導と評価」についてご説明いただきました。

学習指導要領解説をもとに、体育分野においては「公正、協力、責任、参画、共生及び健康・安全」の具体的な指導内容が示されていること、これらの内容を指導し、評価を行うことが求められることなどについてお話をいただきました。また、これらの具体的な指導内容について実践しようとしているかを評価できる場面を工夫することが大切であり、中学校での実践例を挙げて説明していただきました。

学びに向かう力、人間性等と思考力、判断力、表現力等の重点化														
領域	体づく運動		器械運動		陸上競技		水泳		球技		武道		ダンス	
	態度	スキル	態度	スキル	態度	スキル	態度	スキル	態度	スキル	態度	スキル	態度	スキル
愛好的態度	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公正伝統的					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
協力	○	○	○	○	▲	▲	○	○	○	○	▲	○	○	○
責任	▲	▲	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	○	▲	○
参画	○	○							○	○			○	○
共生	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
健康・安全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

▲は、「などの例」

2. ワークショップ「学びに向かう力、人間性等の概念知・方法知・具体知の整理」

「わかる」と「できる」をつなぐ態度の知識の構造化について、佐藤先生からお話をいただいた後、ZOOMのブレイクアウトルームを活用して小・中・高のグループに分かれてワークを行いました。グループで画面共有をしながら、概念知や具体知、場面や発問などを考え、ワークシートを作成していきました。

発表は、ZOOM上で参加者一人一人が聞いてみたいグループを選んで発表を聞く・・・グループセッションのような形で行いました。参加者のみなさんからは「ZOOMで各地の人と交流ができ、また様々なグループの発表を聞くことができてとてもよかった。」「概念知や具体知を踏まえた指導の大切さに気付いた。」「態度の評価は教師一人で考えるとどうしても主観的になってしまうので、今日のようにいろんな人の視点で考えられたことがとてもよかった。」など感想をいただきました。



高2 学年 領域 球技 (バスケットボール) 態度の内容(参画) 解説の表記

合意形成に貢献しようとするとは、チームや自己の課題の解決に向けた練習方法や作戦について話し合う場面で、対立意見が出た場合でも、仲間を尊重し相手の感情に配慮しながら発言したり、提案者の発言に同意を示したりして建設的な話し合いを進めようとすることを示している。そのため、合意形成に貢献しようとするとは、相互の信頼関係を深めることにつながることも、自己形成に役立つことを理解し、取り組めるようにする。

概念知(する意味)	教師の働きかけ	発問
<ul style="list-style-type: none"> ○合意形成に貢献しようとする ○相互の信頼関係を深めること ○自己形成に役立つこと 	<p>場面・教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ○場面 ○ゲーム前の話し合い ○ゲーム後の話し合い ○ゲーム活動 <p>○教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ○話し合いの進め方のポイント、マナーをまとめた資料 ○ICT(ジャムボード、ロイノード) ○ホワイトボード ○付箋 	<p>「建設的な話し合いは、どういったら進められるだろうか」</p> <p><聴く側></p> <ul style="list-style-type: none"> ○相手の発言に対して、どんなリアクションから、その人は気持ちよく話し合いを進められるか(図表化する) <p><発言する側></p> <ul style="list-style-type: none"> ○練習方法ではなにか提案するための発言はどんなものがいいのか <p>「建設的な話し合いとは、お互いの人間関係にどんな影響があるのだろうか」</p>

具体知(何をやるのか)

- 練習方法や作戦について話し合う
- 3vs3での攻め方について
- 相手の感情に配慮しながら発言する
- 批判はしてもよいが否定はしない
- 建設的な話し合いを進める
- 誰かが発言したら顔く
- 意見を深める

3. まとめ

「主体的に学習に取り組む態度」の評価は客観性の担保が難しい。信頼性を担保するためには、教員同士で評価規準などを共有しておくことが大切になると佐藤先生からお話いただき、また高橋先生からは、いろんな指導をしてきて蓄積のある技能のように、態度もこれから蓄積していくことが必要になるとまとめていただきました。運営面で、資料がみなさんに届かなかったり、発表に手間取ったりと大変ご迷惑をおかけしましたが、参加いただいた方々のあたたかい見守りでなんとか終わることができました。本当にありがとうございました。また来年、お会いしましょう! (文責: 岩佐知美)